



関吉の疎水溝



寺山炭窯跡



「日本一のくらし先進県」 の実現に向けて

新年、明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、日頃から、県政の推進に多大な御支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

現在、我が国は、グローバル化の急速な進展、本格的な人口減少や少子高齢化の進行、地域間格差の拡大、国・地方を通じた厳しい財政状況など多くの課題に直面しています。また、「一億総活躍社会」に向けて緊急的に実施すべき施策や、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定の大筋合意を踏まえた実効ある対策などの、速やかな展開が望まれます。

このような時代の大きな変革期を迎える中において、本県の地域特性や可能性を最大限に生かしながら、更なる県勢の浮揚発展を図りつつ、県民一人ひとりが安全な県土の下で、生涯安心して働き、安定した生活を送ることができるよう、社会資本の整備、農林水産業や観光をはじめとする諸産業の振興、雇用の促進、環境問題への対応など、県政の諸問題に対応するとともに、県民生活に直結する、医療や福祉、介護、教育などの分野に特に重点を置いて、今後の施策を進めることが重要であります。

さて、昨年は、口永良部島での爆発的噴火など火山活動の高まりや台風15号による暴風雨の発生など自然の驚異にさらされ、不断の防災対策の重要性に思いを致した年でした。

また、本県の資産を含む「明治日本の産業革命遺産」がユネスコの世界文化遺産に登録されました。これは、産業国家日本の礎を築いた先人

旧集成館
機械工場 (尚古集成館本館)



旧集成館
旧鹿児島紡績所技師館 (異人館)



旧集成館
反射炉跡 (仙巖園内)



たちの偉業が改めて評価されたものです。そして、明治維新150周年の節目を迎えるに当たって、明治維新の意義を改めて考えていく上での契機となるものでもあります。

秋には、「第30回国民文化祭・かごしま2015」が、皇太子同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、「本物。鹿児島県く文化維新は黒潮に乗って」をテーマに、県内全ての43市町村で155の多彩なイベントが実施されました。おもてなしの心にあふれた大会となるとともに、「本物。鹿児島県」の魅力の情報発信にもつながったものと考えています。

引き続き、本県の豊かな自然や個性ある歴史・文化、多様な食材など全国に誇れる本物の素材、アジアへの玄関口や食料供給基地としての役割など、多くの発展可能性を最大限に生かして、様々なプロジェクトを着実に進めてまいります。

今後とも、県政の課題であります「子どもからお年寄りまですべての県民にとって優しく温もりのある社会」の形成を目指し、県民の心を我が心とし、「力みなぎる・かごしま」、「日本一のくらし先進県」の実現に取り組んでまいりますので、引き続き、県政に御関心をお寄せいただき、御支援・御協力くださるようお願いいたします。

県民の皆様にとりまして、新しい年が輝かしく幸多い年でありますことを心から祈念いたします。



平成二十八年元旦
鹿児島県知事 伊藤祐一郎